



代表取締役会長
西村 正雄



代表取締役会長
山本 恵朗



代表取締役社長
杉田 力之

平素より、私どもみずほフィナンシャルグループをお引き立ていただき、誠にありがとうございます。当グループに対するご理解を一層深めていただくために、当グループの経営方針・業績等についてご紹介いたします。

平成12年9月29日、株式会社みずほホールディングスは、株式移転により株式会社第一勧業銀行、株式会社富士銀行および株式会社日本興業銀行の3行を子会社とする銀行持株会社として設立され、みずほフィナンシャルグループが正式に発足いたしました。また、10月1日には、3行子会社の合併により、みずほ証券株式会社、みずほ信託銀行株式会社が設立されました。これもひとえに皆さまからのご支援ご協力の賜ものと、改めて厚くお礼申し上げます。

さて、平成12年度上期の世界経済情勢をみますと、米国では景気拡大テンポがやや鈍化しましたが、総じて拡大基調が維持されました。国内経済情勢をみますと、企業収益が大幅に改善するなか、設備投資が持ち直すなど景気は緩やかながらも回復を続け、日本銀行は8月にゼロ金利政策を解除しました。

こうした状況下、当社設立第1期となる中間期連結決算の概況は、連結粗利益9,627億円、経常利益3,727億円、中間純利益1,548億円となりました。

私どもみずほフィナンシャルグループは、充実した営業基盤ならびに最先端の情報技術(IT)と金融技術(FT)に裏付けられた総合金融力を最大限に活用し、「最先端の総合金融サービスで、新時代をリードする革新的フィナンシャルグループ」を目指します。

具体的には、国内マーケットにおける法人・個人取引において、圧倒的顧客基盤とグループ総合金融サービス力の活用により、他の追随を許さないナンバー1の地位を確立いたします。また、戦略分野では、証券・インベストメントバンキング業務において、

みずほ証券を核とした業務展開でマーケットリーダーの地位を確保し、資産運用・信託業務、決済ビジネスにおいても、それぞれのビジネスフィールドにおいてトップクラスを目指してまいります。

その実現のために、顧客セグメント別・機能別の9つのビジネスユニットごとに事業戦略を展開していくほか、特に、「IT戦略」_」「グローバル戦略」_」「CS(お客さま満足度)向上」_」「チャネル戦略」_」「e-ビジネス」_」「資産流動化・シンジケーション業務」をグループとしての重要課題と位置付け、積極的に展開してまいります。

このような方針のもと、みずほフィナンシャルグループは、お客さま第一の経営姿勢に徹し、グループの総力を結集して多様化・高度化するお客さまのニーズに合った商品・サービスの拡充を進めております。

具体的には、個人のお客さま向けには、「みずほUCカード」_」「みずほスパークカード」_」「みずほファンドコレクション」など統一商品の開発・販売、ローン業務等における商品内容の充実を積極的に推進しております。中堅・中小企業のお客さまには、良質な資金を安定的かつ潤沢に供給するとともに、ニュービジネス、ベンチャー企業などの成長支援にも注力しております。大企業のお客さまには、最新の情報と最先端の金融技術およびグループ会社ネットワークの活用により、ベストソリューションを提供してまいります。

さらに、みずほベンチャーファンド、確定拠出年金サービス株式会社、株式会社エムタウン、資産管理サービス信託銀行株式会社および不動産ファンドの設立・組成等、戦略プロジェクトも積極的に展開しております。

みずほフィナンシャルグループは、我が国を代表する総合金融グループとして日本の金融業界・経済社会の発展に寄与するとともに、世界の一流金融機関としてグローバルトップ5を目指すとの強い決意のもと、グループ全員の心とエネルギーのベクトルを一つにして、皆さまのご期待にお応えしてまいります。

皆さまにおかれましては、今後とも一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成13年1月

代表取締役会長

西村正雄

代表取締役会長

山本恵朗

代表取締役社長

杉田力之